

令和5年度

宮崎県総合農業試験場 研究成果報告会

プログラム

1 主催者挨拶 10:00～10:05

2 成果発表（午前の部） 10:05～11:45

- ① スマート農業機械の体系的活用モデルについて
- ② ハウス抑制ズッキーニにおける肥料濃度や品種が植物ホルモン処理後の正常果率に及ぼす影響
- ③ サツマイモ基腐病対策に向けた健全種苗確保技術の開発
- ④ 土壌養分から見た北諸県の大規模農業法人のほ場の現状
- ⑤ 宮崎県で採取されたトマトキバガ個体群の薬剤感受性

（昼食休憩 11:45～13:00）

3 ポスターセッション 13:00～14:00

※ 発表課題は裏面参照

4 成果発表（午後の部） 14:00～16:10

- ⑥ エラータム系デルフィニウムの閉鎖型育苗における日長時間の検討
- ⑦ 無菌培養条件下におけるランタンキュラスの球根化に日照時間が及ぼす影響
- ⑧ 農地環境推定システム推定値を活用した温州ミカン「日南1号」の発芽期及び開花始期予測
- ⑨ 種なしキンカン「宮崎夢丸」のジベレリン散布処理による着果安定
- ⑩ おいしさのみえる化による農産物の高付加価値化～マンゴーをモデル作物として～
- ⑪ 本県に適したホップ栽培技術の確立

5 情報提供 16:10～16:30

生産現場との連携強化プロジェクトについて



日時

令和6年 2月28日(水) 10:00～16:30

場所

宮崎県総合農業試験場 研修棟
（宮崎県 宮崎市 佐土原町下那珂5805）

申込方法

専用フォームからお申し込みください。
（QRコードまたは下記URLから申請）

<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=ezyZAhiA>

締切

令和6年2月19日(月)



←申込フォームQRコード
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

ポスターセッションについて

ポスターセッションは試験場研究員のスキルアップを目的とした令和5年度からの新たな取組です。研究員にとっては参加者の皆様とのディスカッションが貴重な学びの機会となりますので、ぜひ御参加ください。

- 1 ドローンによる温州ミカン黒点病防除に対する散布特性
～ドローンによる農薬散布で防除作業を省力化～
生産流通部 主任研究員 松浦 絵美
- 2 有機質肥料の肥効予測システムの開発
土壌環境部 主任研究員 吉留 悠太
- 3 宮崎県育成ピーマンF 1 台木・カラーピーマンF 1 品種の識別技術
生物工学部 技師 黒木 響
- 4 多収でいもち病に強い飼料用米新品種「ひなたみのり」の育成
作物部 技師 三浦 綾真
- 5 半促成ピーマン養液栽培における吸水量の推定
野菜部 副部長 力武 弘
- 6 ラナンキュラスPON-PONシリーズ「シレンテ」および「イグルー」の適正冷蔵
週数の検討
花き部 主任技師 安田 早紀
- 7 ブドウ「シャインマスカット」の副梢摘除による副梢管理作業の省力化
果樹部 主任技師 松浦 祥太
- 8 畑かん用水を利用した自動かん水装置によるニンジンの栽培実証
畑作園芸支場 主任研究員 大辻 智子
- 9 茶業支場で育成した茶品種「暖心37」
茶業支場 技師 吉武 欣之介
- 10 マンゴー後期出荷作型におけるあざ果症及びまだら果症の多発生条件の解明
亜熱帯作物支場 技師 財津 燎

